

# 錦糸町熱供給株式会社

## 建物諸元

所在 ————— 墨田区錦糸 2-2-1  
主用途 ————— 熱供給施設  
延床面積 ————— 253,363 m<sup>2</sup>(供給対象延床面積)  
竣工年月 ————— 1997年6月  
事業者・所有者 — 錦糸町熱供給株式会社  
設計会社 ————— 株式会社日建設計  
熱源機器更新工事—株式会社三菱地所設計  
施工会社 ————— 新菱冷熱工業株式会社  
川崎重工業株式会社共同企業体  
熱源機器更新工事—新菱冷熱工業株式会社  
URL ————— <https://www.kinshi-netsu.com/>

## 主な評価項目

### I 一般管理事項

・CO<sub>2</sub>削減推進委員会、プラント効率化検討会を毎月開催しCO<sub>2</sub>排出量の把握等をPDCAサイクルに則り積極的な改善策の立案・実施及び効果検証を実行

### II 建物、設備性能に関する事項

・高効率熱源機器、水蓄熱槽、高効率モータ、ポンプのインバータ制御など

### III 運用に関する事項

・高効率熱源機器を主機とし効率向上に努めた。  
・機器の定期的な保守点検・整備による効率維持

## 事業所の概要

当社は1997年6月から熱の供給を開始し、錦糸町駅北口エリア4.4haの供給地域内にある建物・施設を対象として熱供給を行っています。

また、蓄熱槽と受水槽の保有水を、墨田区に災害時の生活用水として提供する協定を結んでいます。

今後も環境にやさしく地域とお客様から信頼される熱供給会社を目指しています。

## 事業所における環境負荷低減の取組

### 1. プラントシステム再構築

安全・安定供給の継続と効率(COP)向上・温室効果ガス(CO<sub>2</sub>)の削減を目的に熱源機器更新を柱とした熱供給システムの再構築工事を2013年7月～2019年6月まで足かけ6年、5期に渡り実施しました。その結果、COPは更新前(2013年度)0.81から2022年度1.12、CO<sub>2</sub>排出量は更新前(2013年度)より約27%削減、2022年度基準年度比(2004～2006年度)より約49%削減と大幅な改善を実現することが出来ました。

### 2. 温熱源システムの改善

温熱源は蒸気の負荷変動への対応と中間期の低負荷時の対応に小負荷対応用の小型貫流ボイラを導入しました。

### 3. 蓄熱システムの改善

更新1期目のインバーターボ冷凍機を直送/蓄熱運転が切り替え可能な改造工事をしました。

### 4. 冷却水温度の改善

インバーターボ冷凍機の導入に伴い、中間期から冬期にかけての冷却水温度を安定させるために、既存冷却塔ファン5セルの内2セルにインバータを導入しました。

### 5. 冷熱源システムの改善

高効率インバーターボ冷凍機の導入、高効率蒸気吸収冷凍機へ更新およびインバータ冷水ポンプ・冷却水ポンプを導入しました。

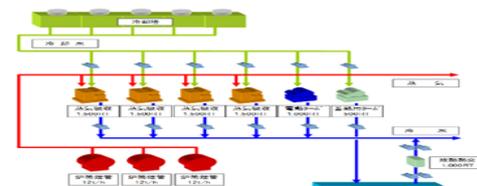
## 錦糸町駅北口周辺



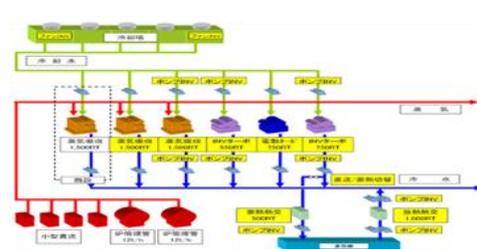
## 取組のイメージ図

### 機器フロー図

#### 更新前



#### 更新後



### 小型貫流ボイラ



### インバーターボ冷凍機

